



プチクル 翼港編 11月 8日



目的地のウエスティングホテル淡路

今年最後のプチクルージングを11月8日に行いました。今回の目的地は、翼港ウエスティングホテル淡路のイタリアンレストラン コッコラーレで昼食を取る企画で参加艇は4艇、15名の方が参加しました。

当日は快晴で小春日和を思わせる天候のもと、北東の風4メートルの風をアビームに受けスタートしました。足の遅い艇は7時半にハーバーを出航し、艇速に自信のある艇は9時に出航、各艇思い思いの帆走スタイルで集合予定時間前に翼港に集合。

昼食はイタリアンバイキングスタイルで各人の嗜好に合わせ、各人各様に料理を堪能。「もし、このレストランに体重計が有り、食事に入る前と後でチェックをしたら今日参加のメンバーで体重が同じと云う人はいないだろうな」とのどなたかの発言で大爆笑が起きました。

ちなみに、当ホテル利用会員証を提示すると料金は一律10%割引となりますが、更に65歳以上のシニアエイジになると20%の割引料金となるのが後で分かりチョッピリ得をした気分になりました。当日3名の該当者がおり、若い方に負けじと食した事は云うまでもありません。

和気藹々の食事会を堪能した後、翼港を後にし、全艇日没前に無事淡輪ハーバーに戻りました。

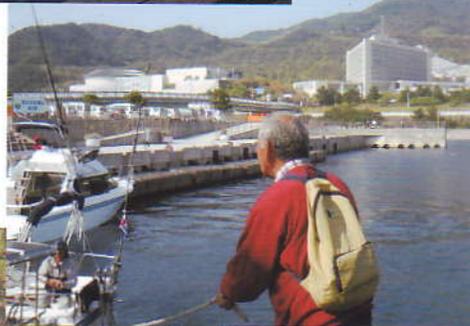
皆さんお疲れさまでした。(柿原勲)

みんなで記念撮影



翼港に到着したドミゴIIIとPoca Poca

舳を手伝う今回の幹事ハヤテの柿原氏



海上では元気な淡輪メンバーも陸上ではダ～ラダラ



メシ まだか～!



食事風景です



来年も参加してね～!

淡輪に向けて出港！
最後にとびっきりの笑顔をどうぞ



菊花レース 10月18日



菊花レースの各艇の迫力の走りをご覧ください。

オープン優勝のTWO TON



迫力のスタートシーン (第3レース)

先頭のMoweはセールをシバーさせてスピードを落としましたがリコールとなった

少数精鋭のエキサイティングな好レース

レースコミッティー「響」 間下 和美

10月18日の天気予報の風予報では午前中3m、午後6mという予想にもかかわらず10時半のスタート時には8mぐらいの風が吹き、前回の全艇DNFのストレスを吹き飛ばしてくれるような、エキサイティングなスタートになりました。

出場艇数は一桁代という寂しい艇数でしたが、良い風に恵まれて3レースできました。3レース目のフィニッシュが2時前だった為もうひとレースと言う話もでしたが、本部船にウインチが飛んできそうなので、3レースで終了しました。

天候や風にも恵まれ、爽やかな秋晴れの下、レースを楽しんでいただけて幸いでした。

TOTORO



YAJIROBAY

IRC優勝

Mowe 山本 晶三

今回のレースは私にとって人生で3度目のレースで、まだまだ何も分からず右も左もわからないままレースを終えてしまったという感じでした。ただ、今回のレース中「緊迫したレースだった」とクルーの方が仰っていて、なんとなくではありますが私もそのように感じる事ができたように思います。ピリピリとした雰囲気の中、少しのミスが順位に大きく影響するのだということ感じ取れました。今回も私はほとんど何もできませんでしたが、レースで勝つことができたことは良い経験となりました。



Star Of Bethlehem



大きくヒールして疾走するIRC優勝のMowe



EMI

紅葉レース 11月15日



空飛ぶ勢いのIRC優勝艇のMowe 強風・うねりの中、大迫力のレースが展開された

レースコミッティー ヤジロベイ 中野正彦

シーズン最終レースにふさわしい風と波に恵まれた(?)1日でした。

タンパト(ジョイライド)と本部艇(ヤジロベイ)の息の合ったサクット感あふれるレース運営が出来たと思います。

参加、淡輪7艇と外来2艇、全9艇で定刻どおり、3人で手薄の本部艇を見ての考慮かオールフェアのありがたいスタートで、290度方向上マーク目指してGO。

波に叩かれる海面でフリートを引張るのはEMI、続いてbethlehem、MoweとIRC艇。オープンでは、TWOTON、海燕II、アプローズ、の駆引きとBクラスアップパーAでのTotoro健闘で、熱戦2レースを終りこの一年の締めと成りました。アフターパーティではクルーと共に海上でのファイトを冷えたビールで冷ます如くぐびぐびゴクン。アツと言う間に1タンク空、これもすべて参加艇とクラブ関係の方々のおかげと感謝しております。

12月は、忘年会で丘でのメを楽しみましょう。有難う御座いました。

IRC優勝

Moweクルー 笠岡 一行

レース当日は天候もよく、船の上で酔っぱらってぶっ飛んでいる娘を横目に、レース中にハリヤードの外皮が捲れ、「上げろ！」の指示にスペクトラをうまく引くことができず、「何しとんじゃー！アホ！」と一喝されたり、船がいい感じでブローチングしたりと、とてもよい緊張感の中でレースを楽しむことができました。MOWEのクルーの一人として紅葉レースに参加でき、さらに1位になれたことを、レース後のビール同様に幸せに感じています。

いい感じ(?)でブローチングするMowe



優勝したMoweのメンバー



オープンクラス 優勝

アプローズ クルー 溝上

アプローズの今年初参戦は、最終戦の紅葉レースとなった。1年、りのレースでしかも20Kt近い強風、出艇後早々と全身にスプレーを浴び、今日はヘビーな一日になると一同予感。

しかし、始まってしまえばそこはE藤スキッパー率いるアプライダー達、すぐモードに入り普段陸でも見せないような機敏な動き(笑)を見せるのであった。

1レース目はスピンを海に還すというトラブルが発生し、スピランを断念するも、2レース目には最速10Ktの会心のスピラン、一同そのスピード感に大いに満足したのであった。やはり強風のレースは楽しい。

この日一番のハードワーカー、パウマンのT井氏にこの優勝したアプローズのメンバー原稿を捧ぐ。



紅葉レースの大迫力シーンをご覧ください

オープン優勝艇 アプローズ



海燕II



EMI



Heat Wave



TOTORO



次項にも写真があります

Star Of Bethlehem

船舶共通通信システムがスタート

成績表

菊花レース

クラス	艇名	艇	総合
IRC	MOWE	Y-30SN	1
IRC	EMI	Mumu36	2
IRC	STARof bethlehem	SEAIS-R34A	3
OA	TWOTON	J92j	1
OA	YAJIROBAY	FS-32	2
OA	TOTORO	Y-23 II	3

紅葉レース

クラス	艇名	艇種	総合
IRC	Mowe	Y-30SN	1
IRC	EMI	Mumu36	2
IRC	star of bethlehem	SEAIS-R34A	3
OA	アプローズ	DEH34	1
OA	海燕II	X-99	2
OA	TWOTON	J92j	3
OA	Totoro	Y-23 II	4
OA	HeatWave	Farr-25PL	5
OA	トライボンド	Y30S2	6

対外レース結果

SHIMA SEIKI CUP

間下和美@響

淡輪勢ががんばりましたので、ご報告します。

クラス1 1位 海燕
2位 ツートン
3位 スターダスト

クラス2 1位 響
3位 グラシャス

という結果です。



文中で紹介している
ハンディー機です

「舵」誌の記事や広告などでご存知の方もいると思いますが、平成5年に創設されたマリンVHFは本年10月2日からスタートした「船舶共通通信システム」に取って代わることになりました。

これにより商船、自衛艦、漁船、プレジャーボート相互間の通信が可能となり、衝突予防など海の安全性が向上するものと期待されます。

今回の改正に合わせて発売される機器は、今の所アイコムとスタンダード2社製だけです。

価格はいずれもオープン価格となっていますが、米国での販売価格に近い値段で販売されており、ハンディー機(5W, 3海特、定期検査なし)2万円前後、据置型(25W, 2海特以上、5年毎定期検査)3万円前後です(筆者はハンディー機2万円で購入済)。アイコム機は「コーデン」で、スタンダード機はヤマハ販売店で購入できます。

マリンVHFの開局を継続している方は、そのまま国際VHFとして使用できます。開局を更新していない方、電波料を払わず放置している方などは「失効」となっていると思われます。その場合は以前開局していた機器で新規の開局申請ができます(申請料7,200円印紙)。輸入品など総務省の技術基準適合証を取っていない機種での申請は、複雑な書類、検査、時間が必要で、素人にはかなり難しい事になります。

電波法違反に対する罰則は、以前からかなり厳しく、無免許で開局、運用した場合は懲役1年以下、100万円以下の罰金。無資格で運用した場合は30万円以下の罰金となっております。受信だけに使うといっても、それに送信機能が付いておれば違法になりますし、フネに持ち込めば開局しているとみなされます。

この改正で海岸局(淡輪では「おおさかわんせんたー」)の「子」である必要がなくなりましたが、マリーナ協会はこの海岸局は継続するとの意向です。この改正にはJSAFも案の検討段階から加わり、実現に一定の役割を果たしております。今後、例えばハーバーの出入り報告がVHFでできるとか、レースでの更なる活用とかの利便性向上を検討し、開局してメリットがあったと言うようにしなければ、普及のテンポは速まらないのではないのでしょうか。

[開局申請用紙]

総務省ホームページの特定無線局の項目からダウンロード

(www.tele.soumu.go.jp)

大阪電気通信振興協会

電話 06-6942-0598

なお、新規購入の場合、申請用紙など一式同梱されています。

(ドミンゴIII 吉田恒男)